

神奈川県議会議員 石川ひろのり

県議会レポート 2018 vol. 15

石川ひろのり事務所 〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202
TEL 044-455-6611 FAX 044-455-6614

県議会控室 〒231-8588 横浜市中区日本大通1 神奈川県庁新庁舎9階
TEL 045-285-0721 FAX 045-285-9021

<http://www.hiro-ishikawa.jp/>  石川ひろのり 



プロフィール

1968年11月3日生まれ 横浜市出身。旅行会社、飲食業を約20年間経験。「行政とはサービス業である」との言葉に感銘を受け、37歳で衆議院議員岩國哲人事務所へ転職。その後、参議院議員公設秘書を経て、政策秘書資格を取得し参議院議員政策秘書を務める。引きこもり支援相談士。2015年県議会議員選挙初当選。麻生区在住。

県税の使い方を考える。

民間にできることは民間に任せ、県事業の在り方を見直すべき
「外国語観光情報ウェブサイト」に2年間で約1億円

国際文化観光・スポーツ常任委員会での石川ひろのりの主な質問

外国語観光情報ウェブサイトについて

石川 県は外国人観光客誘致のために外国語観光情報ウェブサイト「東京デイトリップ」を開設し、昨年度3,200万円、今年度6,500万円、**計約1億円の予算**で2020年までに1,000本のモデルコースを準備し、外国人観光客誘致により県経済を活性化するとしている。

このウェブサイトでどのくらいの外国人観光客が誘致できているのか。

担当課長 現在696本のモデルコースが認定され、順調に本数は増えている。中国語、英語、日本語の順と言語別の検索比率は把握しているが、このウェブサイトでどのくらいの外国人観光客誘致ができているかのデータを取っていない。

石川 昨年9月の一般質問でモデルコース内容について指摘し「神奈川の看板を下ろしてまで知事が力を入れるウェブサイト。本数ありきではなく、質の高いコースを企画・商品化すべき」と提案した。知事からは「指摘いただいた部分の改善を行い、質・量ともに充実させる」と答弁があり1年経過した現状について具体的に質問する。まず、東京デイトリップのウェブサイト内「おすすめスポット」で「川崎」と検索すると、冒頭に相模原市の「城山ダム」が表示説明されている。また、モデルコース「麻生区歴史散歩と陶芸体験」を検索するとコース掲載すらされておらず、横浜市内の地図が表示されている。この点はどうなっているのか。

担当課長 このウェブサイトは委託業者に運営を任せている。県としてもチェックをしているつもりだが、指摘部分は早急に確認し修正する。

石川 モデルコースでコース掲載すらされていないコースは一つ二つではない。以前の質疑で委託業者を変更することにより、より質の高いウェブサイト運営するとの答弁もあった。県のチェック体制はあまりにもずさんである。2年間で約1億円。今後も事業継続をすればそれ以上の県税が使われる。この状態で本来の目的である「外国人観光客誘致」「県経済の活性化」につながっているのか、**民間にできることは民間に任せ、県事業の在り方を見直すべき**と指摘しておく。

※この質問翌日、ウェブサイトの指摘した点は修正・削除されました。

横浜マラソン開催費負担金について

石川 10月28日「横浜マラソン2018」が開催される。県はスポーツ振興や健康増進に寄与し、経済波及効果が期待できるとして、主催団体として3,000万円の予算計上をしている。県内では様々なスポーツ大会が開催をされているが、他に同規模の予算がついている大会はあるのか。

担当課長 今年度、セーリングワールドカップシリーズ江の島大会開催費負担金として3,000万円の予算を計上している。

石川 セーリングはオリンピックに向けての大会と認識をしている。横浜マラソンのように毎年恒例となっているスポーツ大会には補助金などの拠出はないと理解する。県内では「湘南国際マラソン」や「三浦市民マラソン」などが毎年開催をされている。国際観光局では、横浜・鎌倉・箱根に続く第4の国際観光地を創出しようと尽力している。三浦、湘南はまさにその観光地の筆頭である。後援なども含め支援を積極的にしていくべきではないか。

担当課長 「横浜マラソン」は大会を開催するにあたり、当初から横浜市と協議を重ね主催者として負担金を計上している。後援については、大会主催者から申請を行ってもらい、名を連ねる（補助金・人的支援はない）だけである。

石川 「横浜マラソン」は大会主催者として3,000万円を負担する。しかし、一方、県として第4の国際観光地を創出しようとしている地域で開催される「湘南国際マラソン」や「三浦市民マラソン」などには支援がない。スポーツ振興や健康増進に寄与しているというのであれば、**主催・後援の基準の明確化を求める**とともに、後援する大会においても県ブースの設置などを行い積極的に大会の盛り上げに寄与して頂きたい。



活動報告

敬老の日「敬老のつどい」に出席

9月、麻生区内各地域で開催された「敬老会」に出席。麻生区は男性、女性ともに全国で有数の長寿の街です。厚生労働省が今年4月に公表した最新の市区町村別平均寿命によると、麻生区の平均寿命は男性が83.1歳で全国2位、女性が88.6歳で同4位という順位でした。会場で長寿の秘訣を伺うと、健康のために歩くこと、地域活動などを積極的に行うことで生きがいにつながるとのお話でした。麻生区内は坂が多く、日常的にアップダウンのある道を歩くことも健康維持の秘訣のようです。公園や緑など自然環境も豊かなので、心身ともに健康に良い影響があるのかもしれません。

今回、敬老のつどいで感じたことは「地域のつながり」。麻生区は老若男女問わず地域活動や趣味活動が活発で、人々のつながりや助け合いの意識が強いと感じます。「人生100歳時代」と言われる昨今。地域行事などを通して外出や交流の機会が増え、生きがいを持ちながら地域で安心して暮らせる社会づくりが一層進むことを望みます。



「ユニバーサルマナー研修」に参加

9月、県庁内で開催された「ユニバーサルマナー研修」に参加。ユニバーサルマナーとは、高齢者や障がい者、ベビーカー利用者、外国人など「自分とは違う誰か」の視点で考え、適切に行動する「心づかい」。講師を務めるのは障がいの当事者である方々。街で手助けが必要な方を見かけたとき、「何をしたいのかかわからず結局見て見ぬふりをしてしまった」または「手を出したものの逆に困らせてしまった」などの経験が私にもあります。しかしそれが日本人独特の反応で、「無関心」か「過剰」の両極端が多いそうです。それは相手のことを「知らない」からであって、声かけやコミュニケーションを行うには、多様な人々の心理状態を知り、その時々で適切なサポートを行うことが大切なのだ学びました。「何かお手伝いできることはありますか？」そのひとことが相手を知るきっかけになるのだとか。神奈川県でも2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて様々な準備がなされる中、このユニバーサルマナーの導入も急激に進んでいます。私も、この研修を受講後、演習問題に取組み「ユニバーサルマナー検定3級」を取得しました。ホテル・大手飲料メーカーなど企業でも導入され、一般の方も受講することができる「ユニバーサルマナー研修・検定」。ぜひ、皆さま受講されてみてはいかがでしょうか。詳しくは「日本ユニバーサル協会」ホームページを検索してみてください。

(<http://www.universal-manners.jp/>)



県政報告(タウンニュース掲載)



石川ひろのり

1968年11月3日生まれ／横浜市出身／サラリーマンを約20年経験／参議院議員政策秘書、衆議院議員 笠ひろふみ秘書など経験／麻生区在住

「まさか家が被災するなんて」「この地域がこんなになる」と。兵庫や宮城、熊本県など被災地に伺った際に聞かれた言葉です。この4カ月で大阪北部地震、西日本豪雨、台風被害、北海道胆振東部地震など、甚大な被害が続いていま「情報や物資の不足」「バスの前回の備えや対策は重要ですが、私は各県市が続きまして」。

町民の災害担当者から話を伺う中で、災害発生後の対応がとても重要だと感じています。我が街に置き換えると、この8千人という規模は麻生区では、はるの野、東百合丘、細山地域などに匹敵する人数です。大規模災害が発生した時、私たちがどのような行動をすれば良いのでしょうか。神奈川県では、まず命は自分で守る「自助」、救助・避難所開設などの「公助」、初期消火・避難などの「共助」の連携で、防災対応力を高める取り組みを行っています。被災地では避難する際に「○○さんはいない」「○○さんは足が悪いから声かけを」など、地域のつながり

民主みらいかながわ
県政報告vol.18

もう他人事ではない防災対策。神奈川県は…

神奈川県議会議員 石川ひろのり

もう他人事ではない防災対策。神奈川県は…
2018年9月28日号

「第36回あさお区民まつり」に出席

10月、麻生区役所周辺で行われた「第36回あさお区民まつり」に実行委員会顧問として出席。毎年秋に行われる区民まつりは、麻生区の文化の発展と区民の連携を深め、「出会い・ふれあい・手作り」をテーマに、麻生区町会連合会ほか区内関係団体で構成するあさお区民まつり実行委員会主催で開催されています。会場では、各団体のパフォーマンスや麻生警察署の白バイを先導としたパレード、地元野菜の販売など、多くの方で賑わっていました。開会式では「麻生区地域功労者」表彰式も行われ、地域において、環境美化・健康づくり・文化の継承・防災など地域の活性化に大きく貢献された皆さまが表彰されました。街や人が活気にあふれ、笑顔の絶えないこのような行事がこれからも続いていくよう尽力して参ります。



石川ひろのりの活動報告・委員会質問など詳しくはHPまたはFacebookにてご覧いただけます。

f 石川ひろのり

検索

ボランティア スタッフ募集

石川ひろのり事務所では 随時ボランティアスタッフを募集しています。広告用チラシ折り、ポスター掲示、街頭演説のお手伝いなど短時間でもかまいません。皆様のご支援とご協力をお待ちしています。

▶連絡先：TEL 044-455-6611

石川ひろのりの活動への
ご支援(個人献金)のお願い

石川ひろのりの活動にご協力賜りたくご案内させていただきます。なお、寄付は税額控除の対象となりますので、ご相談くださいますようお願い申し上げます。
▶石川裕憲後援会 【郵便局】払込取扱票にて(口座番号 00200-7-52777) 【銀行】三井住友銀行 新百合ヶ丘支店 普通 口座番号 6902358

ご意見など

石川ひろのりへのご意見・ご質問をお待ちしております。
FAX 044-455-6614

お名前

TEL

ご住所